

福岡大学学科履修規程(含む年次別授業科目表)

(学科履修規程 第4条 別表)

第1章 総 則

第1条 卒業資格を得るための履修は、学則第31条から第34条までの規定及びこの履修規程の定めるところによる。

第2章 科目の履修

第2条 (抜粋)

令和6年度入学生(24台)

5 商学部第二部(商学科)の学生は、次の単位を修得しなければならない。(学則第34条参照)

共通教育科目	総合教養科目	人文科学 社会科学 自然科学 総合系列科目 学修基盤科目	計20単位以上	総計124単位以上
	外国語科目	第1外国語	8単位以上	
		第2外国語	4単位以上	
	保健体育科目	3単位以上		
単位互換科目				
専門教育科目	選択必修科目1群	6単位以上	計60単位以上	
	選択必修科目2群	4単位以上		
	選択科目	50単位以上		
自由履修単位	共通教育科目 専門教育科目 関連教育科目	計29単位以上		

(注) 1. 選択必修科目1群を6単位以上修得した場合は、6単位を超えた単位については選択科目に振り替えることができる。
 2. 選択必修科目2群を4単位以上修得した場合は、4単位を超えた単位については選択科目に振り替えることができる。
 3. 関連教育科目については、8単位を限度として、専門教育科目の選択科目に振り替えることができる。
 4. 同一外国語について、第2外国語4単位以上を修得しない場合は、総合教養科目、専門教育科目、関連教育科目のうちから4単位以上を修得しなければならない。
 5. 第2外国語を2単位のみ修得した場合は、各外国語について自由履修単位に算入する。
 6. 単位互換科目の修得単位は、自由履修単位に算入する。
 7. 卒業に必要な単位数(124単位以上)のうち、商学部が認める授業科目から40単位まで(このうち共通教育科目は32単位まで)、昼間部(商学部)で履修することができる。ただし、会計専門職プログラムの学生は、卒業に必要な単位数(124単位以上)のうち、60単位まで昼間部(商学部)で履修することができる。

令和6年度入学生(24台)

商学部第二部 商学科

※印は必修

		第1・2・3・4年次							
		授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
共通科目	総合教養科目	人文科学	[哲学A] 2 倫理学A 2 日本史A 2 [西洋史A] 2 [アジアの文学A] 2 人文地理学 2 西洋教育史 2	[哲学B] 2 倫理学B 2 日本史B 2 [西洋史B] 2 [アジアの文学B] 2 [芸術A] 2	論理学A 2 宗教学A 2 東洋史A 2 日本文学A 2 西洋文学A 2 [芸術B] 2	論理学B 2 宗教学B 2 東洋史B 2 日本文学B 2 西洋文学B 2 日本教育史 2			
		社会科学	法学A 2 [政治学B] 2 社会学B 2 社会心理学A 2 心理社会学B 2	法学B 2 [経済学A] 2 教育学A 2 地理学B 2 文化人類学A 2	日本国憲法 2 [経済学B] 2 教育論B 2 地誌学 2 文化人類学B 2	[政治学A] 2 社会学A 2 教育の原理・課程論 2 心理社会学A 2			
		自然科学	[数学入門] 2 物理の世界 2 新しい地球観 2 自然科学と人間 2	基礎数学 2 自然界と物質の化学 2 [ミクロの生物学B] 2 自然地理学(第3年次配当) 2	統計入門 2 生活と環境の化学 2 [マクロの生物学] 2	物理学入門 2 地球圏科学入門 2 自然科学入門 2			
	総合系科目	商学部の授業科目のうち商学部教授会が適当と認める授業科目							
	学修基盤科目	データサイエンス・AI入門 2 商学部の授業科目のうち商学部教授会が適当と認める授業科目							
専門教育科目	選択必修科目	第1年次		第2年次		第3年次		第4年次	
		授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
	1群	※フレッシュマン・イングリッシュⅠ 1 ※フレッシュマン・イングリッシュⅡ 1 ※フレッシュマン・イングリッシュⅢ 1 ※フレッシュマン・イングリッシュⅣ 1		※インターメディア・イングリッシュⅠ 1 ※インターメディア・イングリッシュⅡ 1 ※インターメディア・イングリッシュⅢ 1 ※インターメディア・イングリッシュⅣ 1 [海外英語研修] 2					
		[ドイツ語ⅠA] 2 [ドイツ語ⅠB] 2 [フランス語ⅠA] 2 [フランス語ⅠB] 2 [中国語ⅠA] 2 [中国語ⅠB] 2 [ロシア語ⅠA] 2 [ロシア語ⅠB] 2 [スペイン語ⅠA] 2 [スペイン語ⅠB] 2 [朝鮮語ⅠA] 2 [朝鮮語ⅠB] 2		[ドイツ語ⅡA] 2 [ドイツ語ⅡB] 2 [フランス語ⅡA] 2 [フランス語ⅡB] 2 [中国語ⅡA] 2 [中国語ⅡB] 2 [ロシア語ⅡA] 2 [ロシア語ⅡB] 2 [スペイン語ⅡA] 2 [スペイン語ⅡB] 2 [朝鮮語ⅡA] 2 [朝鮮語ⅡB] 2					
	保健体育科目	※生涯スポーツ演習Ⅰ 1 ※生涯スポーツ論 2		生涯スポーツ演習Ⅱ 1					
単位互換科目	他大学(短期大学を含む。)の授業科目のうち商学部教授会が適当と認める科目								
専門教育科目	選択必修科目	1群							
		2群		◎ビジネスデザインゼミナール 4 商学ゼミナールA 4 金融ゼミナールA 4 経営ゼミナールA 4 会計ゼミナールA 4 国際ゼミナールA 4		商学ゼミナールB 4 金融ゼミナールB 4 経営ゼミナールB 4 会計ゼミナールB 4 国際ゼミナールB 4		○●☆3年専門ゼミナールⅠ 2 ○●☆3年専門ゼミナールⅡ 2 論文ゼミナール 6	
	選択科目	基礎ゼミナール 2 ○会計基礎ゼミナール 2		○●☆2年基礎ゼミナール 2 ○●☆2年専門ゼミナール 2				○☆キャリア研修X 4 ○☆キャリア研修Y 4 ○☆キャリア研修Z 4	
		情報表現技術 2 情報倫理 2 特別講義A 2 特別講義B 2		外書講読ⅠA 2 外書講読ⅠB 2 情報処理入門 2 特別講義D 2 海外交流ゼミナール 4 マーケティング戦略論 2 地域商業論 2 [広告コミュニケーション] 2 金融システム論 2 交通経済論 2 生活保障論 2 近代日本商業史 2 経営学総論 2 経営学 2 国際経営論 2 [生産管理論] 2 会計学総論 2 経営分析論 2 会計情報システム論 2 国際マーケティング論 2 ビジネスコミュニケーション 2 概説日本史 2 概説政治学 2		外書講読ⅡA 2 外書講読上級A 2 情報処理基礎 2 マルチメディア概論 2 マーケティングリサーチ 2 サービスマネジメント 2 情報社会論 2 証券市場論 2 海運と航空 2 リスクマネジメント論 2 近代西洋商業史 2 経営管理論 2 ヒューマンリソースマネジメント 2 経営組織論 2 オペレーションズリサーチ 2 財務会計論 2 国際会計論 2 監査論 2 国際貿易論 2 グローバル経済事情 2 [概説外国史] 2 概説社会学 2		外書講読ⅡB 2 外書講読上級B 2 特別講義C 2 情報システム論 2 消費者行動論 2 情報産業論 2 金融論 2 交通システム概論 2 保険論 2 商業史概論 2 中小企業論 2 経営財務論 2 経営戦略論 2 経営心理学 2 税と生活 2 管理会計論 2 [会計学特論] 2 国際物理学 2	
		会社簿記論 4 原価計算論 4		経営学総論 2 経営学 2 国際経営論 2 [生産管理論] 2 会計学総論 2 経営分析論 2 会計情報システム論 2 国際マーケティング論 2 ビジネスコミュニケーション 2 概説日本史 2 概説政治学 2		民法B 2 マクロ経済学 4		[商事経済学] 4 ミクロ経済学 4	
		流通・マーケティング入門 2 金融入門 2 経営入門 2 簿記原理 4							
育科目	民法A 2 [労働法] 4 概説哲学(第2年次配当) 2		民法B 2 マクロ経済学 4		[商事経済学] 4 ミクロ経済学 4		経済法 4 財政学 4		
		商学部の授業科目のうち商学部教授会が適当と認める科目							
		他大学(短期大学を含む。)の授業科目のうち商学部教授会が適当と認める科目							

(注) (1) ○印の科目は、会計専門職プログラムの学生が履修することができる。
(2) ●印の科目は、クリエイティブ・マネジメント・プログラムの学生が履修することができる。
(3) ☆印の科目は、高校商業・情報科教員育成プログラムの学生が履修することができる。
(4) ◎印の科目は、地域ビジネスデザインプログラムの学生が履修することができる。
(5) [] 内は今年度休講。

令和5年度入学生（23台）

5 商学部第二部（商学科）の学生は、次の単位を修得しなければならない。（学則第34条参照）

共通教育科目	総合教養科目	人文科学 社会科学 自然科学 総合系列科目 学修基盤科目	計20単位以上	総計124単位以上
	外国語科目	第1外国語	8単位以上	
		第2外国語	4単位以上	
	保健体育科目	3単位以上		
単位互換科目				
専門教育科目	選択必修科目1群	6単位以上	計60単位以上	
	選択必修科目2群	4単位以上		
	選択科目	50単位以上		
自由履修単位	共通教育科目 専門教育科目 関連教育科目	計29単位以上		
<p>(注) 1. 選択必修科目1群を6単位以上修得した場合は、6単位を超えた単位については選択科目に振り替えることができる。</p> <p>2. 選択必修科目2群を4単位以上修得した場合は、4単位を超えた単位については選択科目に振り替えることができる。</p> <p>3. 関連教育科目については、8単位を限度として、専門教育科目の選択科目に振り替えることができる。</p> <p>4. 同一外国語について、第2外国語4単位以上を修得しない場合は、総合教養科目、専門教育科目、関連教育科目のうちから4単位以上を修得しなければならない。</p> <p>5. 第2外国語を2単位のみ修得した場合は、各外国語について自由履修単位に算入する。</p> <p>6. 単位互換科目の修得単位は、自由履修単位に算入する。</p> <p>7. 卒業に必要な単位数（124単位以上）のうち、商学部が認める授業科目から40単位まで（このうち共通教育科目は32単位まで）、昼間部（商学部）で履修することができる。ただし、会計専門職プログラムの学生は、卒業に必要な単位数（124単位以上）のうち、60単位まで昼間部（商学部）で履修することができる。</p>				

令和5年度入学生(23台)

商学部第二部 商学科

※印は必修

		第1・2・3・4年次									
		授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位		
共通教育科目	人文科学	[哲学A]	2	[哲学B]	2	論理学A	2	論理学B	2		
		倫理学A	2	倫理学B	2	宗教学A	2	宗教学B	2		
		日本史A	2	日本史B	2	東洋史A	2	東洋史B	2		
	社会科学	[西洋史A]	2	[西洋史B]	2	日本文学A	2	日本文学B	2		
		[アジアの文学A]	2	[アジアの文学B]	2	西洋文学A	2	西洋文学B	2		
		人文地理学	2	[芸術A]	2	[芸術B]	2	日本教育史	2		
	自然科学	法社会学A	2	法社会学B	2	日本国憲法	2	[政治学A]	2		
		[政治学B]	2	[経済学A]	2	[経済学B]	2	社会学A	2		
		社会学B	2	教育学A	2	教育学B	2	教育の原理・課程論	2		
	総合系科目	社会心理学A	2	社会心理学B	2	文化人類学	2	心理学A	2		
社会心理学B		2	文化人類学A	2	文化人類学B	2					
心理学B		2	基礎数学	2	統計入門	2	物理学入門	2			
学修基盤科目	[数学入門]	2	自然界と物質の化学	2	生活と環境の化学	2	地球圏科学入門	2			
	新しい地球観	2	[ミクロの生物科学]	2	[マクロの生物科学]	2	自然科学入門	2			
	自然科学と人間	2	自然地理学(第3年次配当)	2							
		商学部の授業科目のうち商学部教授会が適当と認める授業科目									
		データサイエンス・AI入門 2									
		商学部の授業科目のうち商学部教授会が適当と認める授業科目									
科目	外国語科目	第1年次		第2年次		第3年次		第4年次			
		授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位		
科目	第1	※フレッシュマン・イングリッシュⅠ	1	※インターメディア・イングリッシュⅠ	1						
		※フレッシュマン・イングリッシュⅡ	1	※インターメディア・イングリッシュⅡ	1						
科目	第2	※フレッシュマン・イングリッシュⅢ	1	※インターメディア・イングリッシュⅢ	1						
		※フレッシュマン・イングリッシュⅣ	1	※インターメディア・イングリッシュⅣ	1						
科目	第2	ドイツ語Ⅰ	2	ドイツ語Ⅱ	2						
		フランス語Ⅰ	2	フランス語Ⅱ	2						
科目	第2	中国語Ⅰ	2	中国語Ⅱ	2						
		[ロシア語Ⅰ]	2	[ロシア語Ⅱ]	2						
科目	第2	[スペイン語Ⅰ]	2	[スペイン語Ⅱ]	2						
		朝鮮語Ⅰ	2	朝鮮語Ⅱ	2						
科目	保健体育科目	※生涯スポーツ演習Ⅰ	1	生涯スポーツ演習Ⅱ	1						
		※生涯スポーツ論	2								
単位互換科目		他大学(短期大学を含む。)の授業科目のうち商学部教授会が適当と認める科目									
専門教育科目	選択必修科目	流通・マーケティング入門	2								
		金融入門	2								
	経営入門	2									
	簿記原理	4									
	2群				◎ビジネスデザインゼミナール	4	商学ゼミナールA	4	金融ゼミナールB	4	
					◎ビジネスデザインゼミナール	4	金融ゼミナールA	4	経営ゼミナールB	4	
	2群					◎ビジネスデザインゼミナール	4	会計ゼミナールB	4		
						◎ビジネスデザインゼミナール	4	国際ゼミナールB	4		
	2群							○●☆3年専門ゼミナールⅠ	2	論文ゼミナール	6
								○●☆3年専門ゼミナールⅡ	2		
選択科目	基礎ゼミナール	基礎ゼミナール	2	○●☆2年基礎ゼミナール	2			○☆キャリア研修X	4		
		○会計基礎ゼミナール	2	○●☆2年専門ゼミナール	2			○☆キャリア研修Y	4		
選択科目	情報表現技術	情報表現技術	2	外書講読ⅠA	2	外書講読ⅡA	2	外書講読ⅡB	2		
		情報倫理	2	外書講読ⅠB	2	外書講読上級A	2	外書講読上級B	2		
選択科目	情報倫理	情報倫理	2	外書講読ⅡB	2	情報処理基礎	2	特別講義C	2		
		特別講義A	2	特別講義D	2	マルチメディア概論	2	情報システム論	2		
選択科目	特別講義	特別講義B	2	海外交流ゼミナール	4						
				マーケティング戦略論	2	マーケティングリサーチ	2	消費者行動論	2		
選択科目	特別講義			地域商業論	2	サービスマネジメント	2	情報産業論	2		
				[広告コミュニケーション]	2	情報社会論	2	金融論	2		
選択科目	特別講義			金融システム論	2	証券市場論	2	交通システム概論	2		
				交通経済論	2	海運と航空	2	保険史論	2		
選択科目	特別講義			生活保障論	2	リスクマネジメント論	2	商業史概論	2		
				近代日本商業史	2	近代西洋商業史	2	中小企業論	2		
選択科目	特別講義			経営学総論	2	経営管理論	2	経営財務論	2		
				経営学総論	2	ヒューマンリソースマネジメント	2	経営戦略論	2		
選択科目	特別講義			国際経営論	2	経営組織論	2	経営心理学	2		
				[生産管理論]	2	オペレーションズリサーチ	2	経営心算論	2		
選択科目	特別講義			会社簿記	4	財務会計論	2	税と生活	2		
				原価計算論	4	国際会計論	2	管理会計論	2		
選択科目	特別講義			経営分析論	2	国際会計論	2	[会計学特論]	2		
				会計情報システム論	2	監査論	2	国際物流論	2		
選択科目	特別講義			国際マーケティング論	2	国際貿易論	2				
				ビジネスコミュニケーション	2	グローバル経済事情	2				
選択科目	特別講義			概説日本史	2	[概説外国史]	2	[概説法律学]	2		
				概説政治学	2	概説社会学	2				
選択科目	特別講義			民法A	2	[商事法]	4	経済法	4		
				[労働法]	4	ミクロ経済学	4	財政	4		
選択科目	特別講義			マクロ経済学	4						
		商学部の授業科目のうち商学部教授会が適当と認める科目									
		他大学(短期大学を含む。)の授業科目のうち商学部教授会が適当と認める科目									

- (注) (1) ○印の科目は、会計専門職プログラムの学生が履修することができる。
 (2) ●印の科目は、クリエイティブ・マネジメント・プログラムの学生が履修することができる。
 (3) ☆印の科目は、高校商業・情報科教育プログラムが履修することができる。
 (4) ◎印の科目は、地域ビジネスデザインプログラムの学生が履修することができる。
 (5) [] 内は今年度休講。

令和4年度入学生(22台)

5 商学部第二部(商学科)の学生は、次の単位を修得しなければならない。(学則第34条参照)

共通教育科目	総合教養科目	人文科学 社会科学 自然科学 総合系列科目 学修基盤科目	計20単位以上	総計124単位以上
	外国語科目	第1外国語	8単位以上	
		第2外国語	4単位以上	
	保健体育科目	3単位以上		
	単位互換科目			
専門教育科目	選択必修科目1群	6単位以上	計60単位以上	
	選択必修科目2群	4単位以上		
	選択科目	50単位以上		
自由履修単位	共通教育科目 専門教育科目 関連教育科目	計29単位以上		
<p>(注) 1. 選択必修科目1群を6単位以上修得した場合は、6単位を超えた単位については選択科目に振り替えることができる。</p> <p>2. 選択必修科目2群を4単位以上修得した場合は、4単位を超えた単位については選択科目に振り替えることができる。</p> <p>3. 関連教育科目については、8単位を限度として、専門教育科目の選択科目に振り替えることができる。</p> <p>4. 同一外国語について、第2外国語4単位以上を修得しない場合は、総合教養科目、専門教育科目、関連教育科目のうちから4単位以上を修得しなければならない。</p> <p>5. 第2外国語を2単位のみ修得した場合は、各外国語について自由履修単位に算入する。</p> <p>6. 単位互換科目の修得単位は、自由履修単位に算入する。</p> <p>7. 卒業に必要な単位数(124単位以上)のうち、商学部が認める授業科目から40単位まで(このうち共通教育科目は32単位まで)、昼間部(商学部)で履修することができる。ただし、会計専門職プログラムの学生は、卒業に必要な単位数(124単位以上)のうち、60単位まで昼間部(商学部)で履修することができる。</p>				

令和4年度入学生(22台)

商学部第二部 商学科

※印は必修

		第1・2・3・4年次								
		授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	
共通教育科目	総合教養科目	人文科学	[哲学A]	2	[哲学B]	2	論理学A	2	論理学B	2
		社会科学	法政学A	2	法政学B	2	日本国憲法	2	[政治学A]	2
		自然科学	[数学入門]	2	基礎数学	2	統計入門	2	物理学入門	2
	総合系科目	商学部の授業科目のうち商学部教授会が適当と認める授業科目								
	学修基盤科目	データサイエンス・AI入門 2 商学部の授業科目のうち商学部教授会が適当と認める授業科目								
科目	外国語科目	第1	※フレッシュマン・イングリッシュI	1	※インターメディア・イングリッシュI	1				
		第2	ドイツ語I	2	ドイツ語II	2				
専門教育科目	選択必修科目	1群	流通・マーケティング入門	2						
		2群	金融入門	2	◎ビジネスデザインゼミナール	4	商学ゼミナールA	4	商学ゼミナールB	4
専門教育科目	選択科目	基礎ゼミナール	2	○●☆2年基礎ゼミナール	2					
		情報表現技術	2	外書講読IA	2	外書講読IIA	2	外書講読IIB	2	
専門教育科目	育科関連教	民法A	2	民法B	2	[商事法]	4	経済法	4	
		労働法	4	マクロ経済学	4	ミクロ経済学	4	財政	4	
		商学部の授業科目のうち商学部教授会が適当と認める科目								
		他大学(短期大学を含む。)の授業科目のうち商学部教授会が適当と認める科目								

- (注) (1) ○印の科目は、会計専門職プログラムの学生が履修することができる。
 (2) ●印の科目は、クリエイティブ・マネジメント・プログラムの学生が履修することができる。
 (3) ☆印の科目は、高校商業・情報科教員育成プログラムの学生が履修することができる。
 (4) ◎印の科目は、地域ビジネスデザインプログラムの学生が履修することができる。
 (5) [] 内は今年度休講。

令和3年度入学生 (21台)

5 商学部第二部 (商学科) の学生は、次の単位を修得しなければならない。(学則第34条参照)

(1)共通教育科目	総合教養科目	人文科学	}	計20単位以上	}	総計124単位以上
		社会科学				
		自然科学				
		総合系列科目				
		学修基盤科目				
外国語科目	}	第1外国語	}	8単位以上	}	
		第2外国語		4単位以上		
保健体育科目				3単位以上		
単位互換科目						
(2)専門教育科目	}	選択必修科目1群	}	6単位以上	}	計60単位以上
		選択必修科目2群		4単位以上		
		選 択 科 目		50単位以上		
(3)自由履修単位	}	共通教育科目	}	計29単位以上	}	
		専門教育科目				
		関連教育科目				

- (注) 1. 選択必修科目1群を6単位以上修得した場合は、6単位を超えた単位については選択科目に振り替えることができる。
2. 選択必修科目2群を4単位以上修得した場合は、4単位を超えた単位については選択科目に振り替えることができる。
3. 関連教育科目については、8単位を限度として、専門教育科目の選択科目に振り替えることができる。
4. 同一外国語について、第2外国語4単位以上を修得しない場合は、総合教養科目、専門教育科目、関連教育科目のうちから4単位以上を修得しなければならない。
5. 第2外国語を2単位のみ修得した場合は、各外国語について自由履修単位に算入する。
6. 単位互換科目の修得単位は、自由履修単位に算入する。
7. 卒業に必要な単位数 (124単位以上) のうち、商学部が認める授業科目から40単位まで (このうち共通教育科目は32単位まで)、昼間部 (商学部) で履修することができる。ただし、会計専門職プログラムの学生は、卒業に必要な単位数 (124単位以上) のうち、60単位まで昼間部 (商学部) で履修することができる。

令和3年度入学生 (21台)

商学部第二部 商学科

※印は必修

		第1・2・3・4年次								
		授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	
共通教育科目	総合教養科目	人文科学	[哲学A]	2	[哲学B]	2	論理学A	2	論理学B	2
			倫理学A	2	倫理学B	2	宗教学A	2	宗教学B	2
			日本史A	2	日本史B	2	東洋史A	2	東洋史B	2
		[西洋史A]	2	[西洋史B]	2	日本文学A	2	日本文学B	2	
		[アジアの文学A]	2	[アジアの文学B]	2	西洋文学A	2	西洋文学B	2	
		人文地理学	2	[芸術A]	2	[芸術B]	2	日本教育史	2	
		西洋教育史	2							
		社会科学	法学A	2	法学B	2	日本国憲法	2	[政治学A]	2
			[政治学B]	2	[経済学A]	2	[経済学B]	2	社会学A	2
			社会学B	2	教育論A	2	教育論B	2	教育の原理・課程論	2
		社会心理学A	2	地理学B	2	地誌学	2	心理科学A	2	
		社会心理学B	2	文化人類学A	2	文化人類学B	2			
	自然科学	[数学入門]	2	基礎数学	2	統計入門	2	物理科学入門	2	
		物理の世界	2	自然界と物質の化学	2	生活と環境の化学	2	地球圏科学入門	2	
		新しい地球観	2	[ミクロの生物科学]	2	[マクロの生物科学]	2	自然科学入門	2	
		自然科学と人間	2	自然地理学(第3年次配当)	2					
	総合系科目	商学部の授業科目のうち商学部教授会が適当と認める授業科目								
	学修基盤科目	商学部の授業科目のうち商学部教授会が適当と認める授業科目								
科目	外国語科目	第1年次		第2年次		第3年次		第4年次		
		授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	
	第1	※フレッシュマン・イングリッシュⅠ	1	※インターメディア・イングリッシュⅠ	1					
		※フレッシュマン・イングリッシュⅡ	1	※インターメディア・イングリッシュⅡ	1					
		※フレッシュマン・イングリッシュⅢ	1	※インターメディア・イングリッシュⅢ	1					
		※フレッシュマン・イングリッシュⅣ	1	※インターメディア・イングリッシュⅣ	1					
	第2	ドイツ語Ⅰ	2	ドイツ語Ⅱ	2					
		フランス語Ⅰ	2	フランス語Ⅱ	2					
		中国語Ⅰ	2	中国語Ⅱ	2					
		[ロシア語Ⅰ]	2	[ロシア語Ⅱ]	2					
		[スペイン語Ⅰ]	2	[スペイン語Ⅱ]	2					
		朝鮮語Ⅰ	2	朝鮮語Ⅱ	2					
	保健体育科目	※生涯スポーツ演習Ⅰ	1	生涯スポーツ演習Ⅱ	1					
	単位互換科目	他大学(短期大学を含む。)の授業科目のうち商学部教授会が適当と認める科目								
専門教育科目	選択必修科目	1群	流通・マーケティング入門	2						
			金融入門	2						
		経営入門	2							
		簿記原理	4							
		2群			◎ビジネスデザインゼミナール	4	商学ゼミナールA	4	金融ゼミナールB	4
					商学ゼミナールA	4	金融ゼミナールB	4	経営ゼミナールB	4
					金融ゼミナールA	4	経営ゼミナールA	4	会計ゼミナールB	4
					経営ゼミナールA	4	会計ゼミナールA	4	国際ゼミナールB	4
					会計ゼミナールA	4	国際ゼミナールA	4		
					国際ゼミナールA	4				
						○●☆3年専門ゼミナールⅠ	2	論文ゼミナール	6	
						○●☆3年専門ゼミナールⅡ	2			
選択科目	選	基礎ゼミナール	2	○●☆2年基礎ゼミナール	2			○☆キャリア研修X	4	
		○会計基礎ゼミナール	2	○●☆2年専門ゼミナール	2			○☆キャリア研修Y	4	
								○☆キャリア研修Z	4	
		情報表現技術	2	外書講読ⅠA	2	外書講読ⅡA	2	外書講読ⅡB	2	
		情報倫理	2	外書講読ⅠB	2	外書講読上級A	2	外書講読上級B	2	
		特別講義A	2	情報処理入門	2	情報処理基礎	2	特別講義C	2	
		特別講義B	2	特別講義D	2	マルチメディア概論	2	情報システム論	2	
				海外交流ゼミナール	4					
				マーケティング戦略論	2	マーケティングリサーチ	2	消費者行動論	2	
				地域商業論	2	サービスマネジメント	2	情報産業論	2	
		[広告コミュニケーション]	2	情報社会論	2	金融論	2			
		金融システム論	2	証券市場論	2	交通システム概論	2			
		交通経済論	2	海運と航空	2	保険論	2			
		生活保障論	2	リスクマネジメント論	2	商業史概論	2			
		近代日本商業史	2	近代西洋商業史	2					
		経営学総論	2	経営管理論	2	中小企業論	2			
		経営学史	2	ヒューマンリソースマネジメント	2	経営財務論	2			
		国際経営論	2	経営組織論	2	経営戦略論	2			
		[生産管理論]	2	オペレーションズリサーチ	2	経営心理学	2			
		会社簿記	4	財務会計論	2	税と生活	2			
		原価計算論	4	国際会計論	2	管理会計論	2			
				会計情報システム論	2	[会計学特論]	2			
				国際マーケティング論	2	国際物流論	2			
				ビジネスコミュニケーション	2					
				概説日本史	2	[概説外国史]	2	[概説法律学]	2	
				概説政治学	2	[概説社会学]	2			
育	関連教	民法A	2	民法B	2	[商事法]	4	経済法	4	
		[労働法]	4	マクロ経済学	4	ミクロ経済学	4	財政	4	
		概説哲学(第2年次配当)	2							
		商学部の授業科目のうち商学部教授会が適当と認める科目								
		他大学(短期大学を含む。)の授業科目のうち商学部教授会が適当と認める科目								

- (注) (1) ○印の科目は、会計専門職プログラムの学生が履修することができる。
 (2) ●印の科目は、クリエイティブ・マネジメント・プログラムの学生が履修することができる。
 (3) ☆印の科目は、高校商業・情報科教員育成プログラムの学生が履修することができる。
 (4) ◎印の科目は、地域ビジネスデザインプログラムの学生が履修することができる。
 (5) [] 内は今年度休講。

令和2年度入学生（20台）

5 商学部第二部（商学科）の学生は、次の単位を修得しなければならない。（学則第34条参照）

(1)共通教育科目	{	総合教養科目	人文科学	}	計20単位以上	}	総計124単位以上	
			社会科学					
			自然科学					
			総合系列科目					
			学修基盤科目					
外国語科目	{	第1外国語	}	8単位以上	}	}		
		第2外国語		4単位以上				
		保健体育科目		3単位以上				
		単位互換科目						
(2)専門教育科目	{	選択必修科目	}	6単位以上	}	}	}	
		選 択 科 目		54単位以上				計60単位以上
(3)自由履修単位	{	共通教育科目	}		}	}	}	
		専門教育科目						計29単位以上
		関連教育科目						

- (注) 1. 選択必修科目を6単位以上修得した場合、6単位を超えた単位については選択科目に振り替えることができる。
2. 関連教育科目については、8単位を限度として、専門教育科目の選択科目に振り替えることができる。
3. 同一外国語について、第2外国語4単位以上を修得しない場合は、総合教養科目、専門教育科目、関連教育科目のうちから4単位以上を修得しなければならない。
4. 第2外国語を2単位のみ修得した場合は、各外国語について自由履修単位に算入する。
5. 単位互換科目の修得単位は、自由履修単位に算入する。
6. 卒業に必要な単位数（124単位以上）のうち、商学部が認める授業科目から40単位まで（このうち共通教育科目は32単位まで）、昼間部（商学部）で履修することができる。ただし、会計専門職プログラムの学生は、卒業に必要な単位数（124単位以上）のうち、60単位まで昼間部（商学部）で履修することができる。

令和2年度入学生 (20台)

商学部第二部 商学科

*印は必修
△印は選択必修

		第1・2・3・4年次							
		授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
共通教育科目	人文科学	[哲学A]	2	[哲学B]	2	論理学A	2	論理学B	2
		倫理学A	2	倫理学B	2	宗教学A	2	宗教学B	2
		日本史A	2	日本史B	2	東洋史A	2	東洋史B	2
	社会科学	[西洋史A]	2	[西洋史B]	2	日本文学A	2	日本文学B	2
		[アジアの文学A]	2	[アジアの文学B]	2	西洋文学A	2	西洋文学B	2
		人文地理学	2	[芸術A]	2	芸術B	2	日本教育史	2
	自然科学	法社会学A	2	法社会学B	2	日本国憲法	2	[政治学A]	2
		[政治学B]	2	[経済学A]	2	[経済学B]	2	社会学A	2
		社会学B	2	教育学A	2	教育論B	2	教育の原理・課程論	2
	総合科目	社会心理学A	2	社会心理学B	2	地誌学	2	心理学A	2
社会心理学B		2	文化人類学A	2	文化人類学B	2			
心理学B		2							
科目	第1	[数学入門]	2	基礎数学	2	統計入門	2	物理学入門	2
		物理の世界	2	自然界と物質の化学	2	生活と環境の化学	2	地球圏科学入門	2
科目	第2	新しい地球観	2	[ミクロの生物科学]	2	[マクロの生物科学]	2	自然科学入門	2
		自然科学と人間	2	自然地理学(第3年次配当)	2				
科目	第1	商学部の授業科目のうち商学部教授会が適当と認める授業科目							
		商学部の授業科目のうち商学部教授会が適当と認める授業科目							
科目	第2	商学部の授業科目のうち商学部教授会が適当と認める授業科目							
		商学部の授業科目のうち商学部教授会が適当と認める授業科目							
科目	第1	第1年次		第2年次		第3年次		第4年次	
		授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
科目	第1	※フレッシュマン・イングリッシュⅠ	1	※インターメディア・イングリッシュⅠ	1				
		※フレッシュマン・イングリッシュⅡ	1	※インターメディア・イングリッシュⅡ	1				
科目	第2	※フレッシュマン・イングリッシュⅢ	1	※インターメディア・イングリッシュⅢ	1				
		※フレッシュマン・イングリッシュⅣ	1	※インターメディア・イングリッシュⅣ	1				
科目	第1	ドイツ語Ⅰ	2	ドイツ語Ⅱ	2				
		フランス語Ⅰ	2	フランス語Ⅱ	2				
科目	第2	中国語Ⅰ	2	中国語Ⅱ	2				
		[ロシア語Ⅰ]	2	[ロシア語Ⅱ]	2				
科目	第1	[スペイン語Ⅰ]	2	[スペイン語Ⅱ]	2				
		朝鮮語Ⅰ	2	朝鮮語Ⅱ	2				
科目	第2	※生涯スポーツ演習Ⅰ	1	生涯スポーツ演習Ⅱ	1				
		※生涯スポーツ論	2						
科目	第1	他大学(短期大学を含む。)の授業科目のうち商学部教授会が適当と認める科目							
		他大学(短期大学を含む。)の授業科目のうち商学部教授会が適当と認める科目							
科目	第2	他大学(短期大学を含む。)の授業科目のうち商学部教授会が適当と認める科目							
		他大学(短期大学を含む。)の授業科目のうち商学部教授会が適当と認める科目							
科目	第1	基礎ゼミナール	2	○☆2年基礎ゼミナール	2	○☆3年専門ゼミナールⅠ	2	○☆論文ゼミナール	6
		○会計基礎ゼミナール	2	○☆2年専門ゼミナール	2	○☆3年専門ゼミナールⅡ	2	○☆キャリア研修X	4
科目	第2							○☆キャリア研修Y	4
								○☆キャリア研修Z	4
科目	第1	情報表現技術	2	商学ゼミナールA	4	外書講読CⅠ	2	外書講読CⅡ	2
		情報倫理	2	経営ゼミナールB	4	商学ゼミナールB	4	経営ゼミナールA	4
科目	第2	特別講義A	2	外書講読AⅠ	2	会計ゼミナールA	4	会計ゼミナールB	4
		特別講義B	2	外書講読BⅠ	2	外書講読AⅡ	2	外書講読BⅠ	2
科目	第1	△流通・マーケティング入門	2	特別講義C	2	情報処理入門	2	情報処理基礎	2
		△金融入門	2	情報システム論	2	特別講義D	2	マルチメディア概論	2
科目	第2			マーケティング戦略論	2	海外交流ゼミナール	4	消費者行動論	2
				地域商業論	2	マーケティングリサーチ	2	情報産業論	2
科目	第1			[広告コミュニケーション]	2	サービスマネジメント	2	金融論	2
				金融システム論	2	情報社会論	2	交通システム概論	2
科目	第2			交通経済論	2	証券市場論	2	保険論	2
				生活保障論	2	海運と航空	2	商業史概論	2
科目	第1			近代日本商業史	2	リスクマネジメント論	2	中小企業論	2
				経営学総論	2	近代西洋商業史	2	経営財務論A	2
科目	第2			経営史概論	2	経営管理論	2	経営財務論B	2
				[経営財務論B]	2	ヒューマンリソースマネジメント	2	経営組織論	2
科目	第1			経営戦略論	2	国際経営論	2	[経営診断論]	2
				オペレーションズリサーチ	2	[工業経営論]	2	税と生活	2
科目	第2			会計学総論	2	経営心理学	2	管理会計論	2
				経営分析論	2	財務会計論	2	[会計学特論]	2
科目	第1			会計情報システム論	2	国際会計論	2	国際物流論	2
				国際マーケティング論	2	監査論	2	[概説法律学]	2
科目	第2			ビジネスコミュニケーション	2	国際貿易論	2		
				概説日本史	2	グローバル経済事情	2		
科目	第1			概説政治学	2	[概説外国史]	2		
				マクロ経済学	4	概説社会学	2		
科目	第2					[商事法]	4	経済法	4
						ミクロ経済学	4	財政学	4
科目	第1	商学部の授業科目のうち商学部教授会が適当と認める科目							
		商学部の授業科目のうち商学部教授会が適当と認める科目							
科目	第2	商学部の授業科目のうち商学部教授会が適当と認める科目							
		商学部の授業科目のうち商学部教授会が適当と認める科目							

(注) (1) ○印の科目は、会計専門職プログラムの学生が履修することができる。
 (2) ☆印の科目は、高校商業・情報科教員育成プログラムの学生が履修することができる。
 (3) []内は今年度休講。

平成31年度入学生（19台）

5 商学部第二部（商学科）の学生は、次の単位を修得しなければならない。（学則第34条参照）

(1)共通教育科目	総合教養科目	人文科学	}	計20単位以上	}	総計124単位以上
		社会科学				
		自然科学				
		総合系列科目				
		学修基盤科目				
外国語科目	}	第1外国語	}	8単位以上	}	
		第2外国語		4単位以上		
		保健体育科目		3単位以上		
	単位互換科目					
(2)専門教育科目	}	選択必修科目	}	6単位以上	}	計60単位以上
		選 択 科 目		54単位以上		
(3)自由履修単位	}	共通教育科目	}	計29単位以上	}	
		専門教育科目				
		関連教育科目				

- (注) 1. 選択必修科目を6単位以上修得した場合、6単位を超えた単位については選択科目に振り替えることができる。
2. 関連教育科目については、8単位を限度として、専門教育科目の選択科目に振り替えることができる。
3. 同一外国語について、第2外国語4単位以上を修得しない場合は、総合教養科目、専門教育科目、関連教育科目のうちから4単位以上を修得しなければならない。
4. 第2外国語を2単位のみ修得した場合は、各外国語について自由履修単位に算入する。
5. 単位互換科目の修得単位は、自由履修単位に算入する。
6. 卒業に必要な単位数（124単位以上）のうち、商学部が認める授業科目から40単位まで（このうち共通教育科目は32単位まで）、昼間部（商学部）で履修することができる。ただし、会計専門職プログラムの学生は、卒業に必要な単位数（124単位以上）のうち、60単位まで昼間部（商学部）で履修することができる。

平成31年度入学生 (19台)

商学部第二部 商学科

*印は必修
△印は選択必修

		第1・2・3・4年次									
		授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位		
共通教育科目	人文科学	[哲学A]	2	[哲学B]	2	論理学A	2	論理学B	2		
		倫理学A	2	倫理学B	2	宗教学A	2	宗教学B	2		
		日本史A	2	日本史B	2	東洋史A	2	東洋史B	2		
	社会科学	[西洋史A]	2	[西洋史B]	2	日本文学A	2	日本文学B	2		
		[アジアの文学A]	2	[アジアの文学B]	2	西洋文学A	2	西洋文学B	2		
		人文地理学	2	[芸術A]	2	芸術	2	日本教育史	2		
	自然科学	法社会学A	2	法社会学B	2	日本国憲法	2	[政治学A]	2		
		[政治学B]	2	[経済学A]	2	[経済学B]	2	社会学A	2		
		社会学B	2	教育学A	2	教育論B	2	教育の原理・課程論	2		
	総合科目	社会心理学A	2	社会心理学B	2	地誌	2	心理学A	2		
社会心理学B		2	文化人類学A	2	文化人類学B	2					
心理学A		2									
科目	第1	[数学入門]	2	基礎数学	2	統計入門	2	物理学入門	2		
		物理の世界	2	自然界と物質の化学	2	生活と環境の化学	2	地球圏科学入門	2		
科目	第2	新しい地球観	2	[ミクロの生物学]	2	[マクロの生物学]	2	自然科学入門	2		
		自然科学と人間	2	自然地理学(第3年次配当)	2						
		商学部の授業科目のうち商学部教授会が適当と認める授業科目									
		商学部の授業科目のうち商学部教授会が適当と認める授業科目									
		第1年次		第2年次		第3年次		第4年次			
		授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位		
専門教育科目	外国語科目	※フレッシュマン・イングリッシュⅠ	1	※インターメディア・イングリッシュⅠ	1						
		※フレッシュマン・イングリッシュⅡ	1	※インターメディア・イングリッシュⅡ	1						
	※フレッシュマン・イングリッシュⅢ	1	※インターメディア・イングリッシュⅢ	1							
	※フレッシュマン・イングリッシュⅣ	1	※インターメディア・イングリッシュⅣ	1							
					[海外英語研修]	2					
			ドイツ語Ⅰ	2	ドイツ語Ⅱ	2					
			フランス語Ⅰ	2	フランス語Ⅱ	2					
			中国語Ⅰ	2	中国語Ⅱ	2					
			[ロシア語Ⅰ]	2	[ロシア語Ⅱ]	2					
			[スペイン語Ⅰ]	2	[スペイン語Ⅱ]	2					
保健体育科目		※生涯スポーツ演習Ⅰ	1	生涯スポーツ演習Ⅱ	1						
		※生涯スポーツ論	2								
単位互換科目		他大学(短期大学を含む。)の授業科目のうち商学部教授会が適当と認める科目									
専門教育科目	教育科目	基礎ゼミナール	2	○2年基礎ゼミナール	2	○3年専門ゼミナールⅠ	2	○論文ゼミナール	6		
		○会計基礎ゼミナール	2	○2年専門ゼミナール	2	○3年専門ゼミナールⅡ	2	○キャリア研修X	4		
								○キャリア研修Y	4		
								○キャリア研修Z	4		
								外書講読CⅡ	2		
				情報表現技術	2	商学ゼミナールA	4	商学ゼミナールB	4	経営ゼミナールA	4
				情報倫理	2	経営ゼミナールB	4	会計ゼミナールA	4	会計ゼミナールB	4
				特別講義A	2	外書講読AⅠ	2	外書講読AⅡ	2	外書講読BⅠ	2
				特別講義B	2	外書講読BⅡ	2	情報処理入門	2	情報処理基礎	2
				特別講義C	2	特別講義D	2	特別講義	2	マルチメディア概論	2
		情報システム論	2	情報システム論	2	海外交流ゼミナール	4				
		△流通・マーケティング入門	2	マーケティング戦略論	2	マーケティングリサーチ	2	消費者行動論	2		
		△金融入門	2	地域商業論	2	サービスマネジメント	2	情報産業論	2		
				[広告コミュニケーション]	2	情報社会論	2	金融論	2		
				金融システム論	2	証券市場論	2	交通システム概論	2		
				交通経済論	2	海運と航空	2	保険論	2		
				生活保障論	2	リスクマネジメント論	2	商業史概論	2		
				近代日本商業史	2	近代西洋商業史	2				
		△経営入門	2	経営学総論	2	経営管理論	2	中小企業論	2		
				経営史概論	2	ヒューマンリソースマネジメント	2	経営財務論A	2		
				[経営財務論B]	2	国際経営論	2	経営組織論	2		
				経営戦略論	2	[工業経営論]	2	[経営診断論]	2		
				オペレーションズリサーチ	2	経営心理学	2				
		△簿記原理	4	会計学総論	2	財務会計論	2	税と生活	2		
		会社簿記	4	経営分析論	2	国際会計論	2	管理会計論	2		
		原価計算論	4	会計情報システム論	2	監査論	2	[会計学特論]	2		
				国際マーケティング論	2	国際貿易論	2	国際物流論	2		
				ビジネスコミュニケーション	2	グローバル経済事情	2				
				概説日本史	2	[概説外国史]	2	[概説法律学]	2		
				概説政治学	2	概説社会学	2				
育科目	関連教	民法A	2	民法B	2	[商事法]	4	[行政法]	4		
		経済法	4	[労働法]	4	[国際法]	4	[税法]	4		
		マクロ経済学	4	ミクロ経済学	4	財政学	4	概説哲学(第2年次配当)	2		
		商学部の授業科目のうち商学部教授会が適当と認める科目									
		他大学(短期大学を含む。)の授業科目のうち商学部教授会が適当と認める科目									

(注) (1) ○印の科目は、会計専門職プログラムの学生が履修することができる。
(2) []内は今年度休講。

平成30年度入学生（18台）

5 商学部第二部（商学科）の学生は、次の単位を修得しなければならない。（学則第34条参照）

(1)共通教育科目	{	総合教養科目	}	計20単位以上	}	総計124単位以上	
		人文科学					
		社会科学					
		自然科学					
		総合系列科目					
(2)専門教育科目	{	外国語科目	}	計60単位以上	}	総計124単位以上	
		第1外国語					8単位以上
		第2外国語					4単位以上
		保健体育科目					3単位以上
(3)自由履修単位	{	単位互換科目	}	計29単位以上	}	総計124単位以上	
		選択必修科目					6単位以上
		選 択 科 目					54単位以上
(3)自由履修単位	{	共通教育科目	}	計29単位以上	}	総計124単位以上	
		専門教育科目					
		関連教育科目					

- (注) 1. 選択必修科目を6単位以上修得した場合、6単位を超えた単位については選択科目に振り替えることができる。
2. 関連教育科目については、8単位を限度として、専門教育科目の選択科目に振り替えることができる。
3. 同一外国語について、第2外国語4単位以上を修得しない場合は、総合教養科目、専門教育科目、関連教育科目のうちから4単位以上を修得しなければならない。
4. 第2外国語を2単位のみ修得した場合は、各外国語について自由履修単位に算入する。
5. 単位互換科目の修得単位は、自由履修単位に算入する。
6. 卒業に必要な単位数（124単位以上）のうち、商学部が認める授業科目から40単位まで（このうち共通教育科目は32単位まで）、昼間部（商学部）で履修することができる。ただし、会計専門職プログラムの学生は、卒業に必要な単位数（124単位以上）のうち、60単位まで昼間部（商学部）で履修することができる。

平成30年度入学生 (18台)

商学部第二部 商学科

*印は必修
△印は選択必修

		第1・2・3・4年次							
		授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
共通教育科目	人文科学	[哲学A]	2	[哲学B]	2	論理学A	2	論理学B	2
		倫理学A	2	倫理学B	2	宗教学A	2	宗教学B	2
	日本史A	2	日本史B	2	[日本史通論A]	2	[日本史通論B]	2	
	東洋史A	2	東洋史B	2	[西洋史A]	2	[西洋史B]	2	
	[外国史通論A]	2	[外国史通論B]	2	日本文学A	2	日本文学B	2	
社会科学	[中国文学A]	2	[中国文学B]	2	西洋文学A	2	西洋文学B	2	
	人文学A	2	[芸術A]	2	[芸術B]	2	日本教育史	2	
自然科学	法学A	2	法学B	2	日本国憲法	2	[法学概論]	2	
	[政治学A]	2	[政治学B]	2	[政治学概論A]	2	[政治学概論B]	2	
総合系列科目	[経済学A]	2	[経済学B]	2	社会学A	2	社会学B	2	
	教育学A	2	教育学B	2	教育原論	2	地理学A	2	
学修基盤科目	文化人類学A	2	文化人類学B	2	心理学A	2	心理学B	2	
	[数学入門]	2	基礎数学	2	統計入門	2	物理学入門	2	
育	外国語科目	物理の世界	2	自然界と物質の化学	2	生活と環境の化学	2	地球圏科学入門	2
		新しい地球観	2	[ミクロの生物科学]	2	[マクロの生物科学]	2	自然科学入門	2
科目	第1	※フレッシュマン・イングリッシュI	1	※インターメディア・イングリッシュI	1				
		※フレッシュマン・イングリッシュII	1	※インターメディア・イングリッシュII	1				
目	第2	※フレッシュマン・イングリッシュIII	1	※インターメディア・イングリッシュIII	1				
		※フレッシュマン・イングリッシュIV	1	※インターメディア・イングリッシュIV [海外英語研修]	2				
保健体育科目		ドイツ語I	2	ドイツ語II	2				
		フランス語I	2	フランス語II	2				
単位互換科目		中国語I	2	中国語II	2				
		[ロシア語I]	2	[ロシア語II]	2				
		[スペイン語I]	2	[スペイン語II]	2				
		朝鮮語I	2	朝鮮語II	2				
		※生涯スポーツ演習I	1	生涯スポーツ演習II	1				
		※生涯スポーツ論	2						
		他大学（短期大学を含む。）の授業科目のうち商学部教授会が適当と認める科目							
専門教育科目	基礎ゼミナール	基礎ゼミナール	2	○2年基礎ゼミナール	2	○3年専門ゼミナールI	2	○論文ゼミナール	6
		○会計基礎ゼミナール	2	○2年専門ゼミナール	2	○3年専門ゼミナールII	2	○キャリア研修X	4
育	第1	情報表現技術	2	商学ゼミナールA	4	外書講読C I	2	外書講読C II	2
		情報倫理	2	経営ゼミナールB	4	商学ゼミナールB	4	経営ゼミナールA	4
目	第2	特別講義A	2	外書講読A I	2	会計ゼミナールA	4	会計ゼミナールB	4
		特別講義B	2	外書講読B II	2	外書講読A II	2	外書講読B I	2
専	情報表現技術	情報システム論	2	特別講義C	2	情報処理入門	2	情報処理基礎	2
		情報倫理	2	特別講義D	2	特別講義D	2	情報処理基礎	2
門	特別講義A	情報システム論	2	海外交流ゼミナール	4	マルチメディア概論	2	マルチメディア概論	2
		特別講義B	2	海外交流ゼミナール	4	マルチメディア概論	2	マルチメディア概論	2
教	特別講義B	△流通・マーケティング入門	2	マーケティング戦略論	2	マーケティングリサーチ	2	消費者行動論	2
		△金融入門	2	マーケティング戦略論	2	マーケティングリサーチ	2	消費者行動論	2
育	△流通・マーケティング入門	△金融入門	2	[広告コミュニケーション]	2	サービスマネジメント	2	情報産業論	2
		△金融入門	2	金融システム論	2	情報社会論	2	情報産業論	2
科	△金融入門	△経営入門	2	交通経済論	2	証券市場論	2	交通システム概論	2
		△経営入門	2	生活保障論	2	海運と航空	2	保険論	2
目	△経営入門	△簿記原理	4	近代日本商業史	2	リスクマネジメント論	2	商業史概論	2
		△簿記原理	4	近代日本商業史	2	近代西洋商業史	2	商業史概論	2
専	△簿記原理	△会社簿記論	4	経営学総論	2	経営管理論	2	中小企業論	2
		△会社簿記論	4	経営学総論	2	ヒューマンリソースマネジメント	2	経営財務論A	2
門	△会社簿記論	△原価計算論	4	経営史概論	2	国際経営論	2	経営組織論	2
		△原価計算論	4	[経営財務論B]	2	国際経営論	2	経営組織論	2
教	△原価計算論	△簿記原理	4	経営戦略論	2	[工業経営論]	2	[経営診断論]	2
		△簿記原理	4	オペレーションズリサーチ	2	[工業経営論]	2	[経営診断論]	2
育	△簿記原理	△会社簿記論	4	会計学総論	2	経営心理学	2	税と生活	2
		△会社簿記論	4	会計学総論	2	財務会計論	2	税と生活	2
科	△会社簿記論	△原価計算論	4	経営分析論	2	国際会計論	2	管理会計論	2
		△原価計算論	4	会計情報システム論	2	監査論	2	管理会計論	2
目	△原価計算論	△簿記原理	4	国際マーケティング論	2	国際貿易論	2	[会計学特論]	2
		△簿記原理	4	国際マーケティング論	2	国際貿易論	2	[会計学特論]	2
専	△簿記原理	△簿記原理	4	ビジネスコミュニケーション	2	グローバル経済事情	2	国際物流論	2
		△簿記原理	4	ビジネスコミュニケーション	2	グローバル経済事情	2	国際物流論	2
門	△簿記原理	△簿記原理	4	民法B	2	[商事法]	4	[行政法]	4
		△簿記原理	4	民法B	2	[商事法]	4	[行政法]	4
教	△簿記原理	△簿記原理	4	[労働法]	4	[国際法]	4	[税法]	4
		△簿記原理	4	[労働法]	4	[国際法]	4	[税法]	4
育	△簿記原理	△簿記原理	4	ミクロ経済学	4	財政学	4		
		△簿記原理	4	ミクロ経済学	4	財政学	4		
		商学部の授業科目のうち商学部教授会が適当と認める科目							
		他大学（短期大学を含む。）の授業科目のうち商学部教授会が適当と認める科目							

(注) (1) ○印の科目は、会計専門職プログラムの学生が履修することができる。
 (2) [] 内は今年度休講。

平成29年度入学生（17台）

5 商学部第二部（商学科）の学生は、次の単位を修得しなければならない。（学則第34条参照）

(1)共通教育科目	総合教養科目	{ 人文科学 社会科学 自然科学 総合系列科目 学修基盤科目 }計20単位以上	}	総計124単位以上	
			外国語科目			第1外国語..... 8単位以上
						第2外国語..... 4単位以上
			保健体育科目..... 3単位以上			
			単位互換科目			
(2)専門教育科目	{ 選択必修科目..... 6単位以上 選 択 科 目..... 54単位以上 }	計60単位以上				
(3)自由履修単位	{ 共通教育科目 専門教育科目 関連教育科目 }計29単位以上				

- (注) 1. 選択必修科目を6単位以上修得した場合、6単位を超えた単位については選択科目に振り替えることができる。
2. 関連教育科目については、8単位を限度として、専門教育科目の選択科目に振り替えることができる。
3. 同一外国語について、第2外国語4単位以上を修得しない場合は、総合教養科目、専門教育科目、関連教育科目のうちから4単位以上を修得しなければならない。
4. 第2外国語を2単位のみ修得した場合は、各外国語について自由履修単位に算入する。
5. 単位互換科目の修得単位は、自由履修単位に算入する。
6. 卒業に必要な単位数（124単位以上）のうち、商学部が認める授業科目から40単位まで（このうち共通教育科目は32単位まで）、昼間部（商学部）で履修することができる。ただし、会計専門職プログラムの学生は、卒業に必要な単位数（124単位以上）のうち、60単位まで昼間部（商学部）で履修することができる。

平成29年度入学生 (17台)

商学部第二部 商学科

※印は必修
△印は選択必修

		第1・2・3・4年次							
		授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
共通教育科目	人文科学	[哲学A]	2	[哲学B]	2	論理学A	2	論理学B	2
		倫理学A	2	倫理学B	2	宗教学A	2	宗教学B	2
		日本史A	2	日本史B	2	[日本史通論A]	2	[日本史通論B]	2
	東洋史A	2	東洋史B	2	[西洋史A]	2	[西洋史B]	2	
	[外国史通論A]	2	[外国史通論B]	2	日本文学A	2	日本文学B	2	
[中国文学A]	2	[中国文学B]	2	西洋文学A	2	西洋文学B	2		
人文学	2	[芸術A]	2	[芸術B]	2	日本教育史	2		
社会科学	法学A	2	法学B	2	日本国憲法	2	[法学概論]	2	
	[政治学A]	2	[政治学B]	2	[政治学概論A]	2	[政治学概論B]	2	
	[経済学概論A]	2	[経済学概論B]	2	社会学A	2	社会学B	2	
教育学	2	教育学	2	教育原論	2	心理学A	2		
地理学	2	文化人類学	2	文化人類学B	2	心理学B	2		
自然科学	[数学入門]	2	基礎数学	2	統計入門	2	物理学入門	2	
物理の世界	2	自然界と物質の化学	2	生活と環境の化学	2	地球圏科学入門	2		
新しい地球観	2	[ミクロの生物科学]	2	[マクロの生物科学]	2	自然科学入門	2		
自然科学と人間	2	自然地理学(第3年次配当)	2						
総合系列科目	商学部の授業科目のうち商学部教授会が適当と認める授業科目								
学修基盤科目	商学部の授業科目のうち商学部教授会が適当と認める授業科目								
科目	外国語科目	第1年次		第2年次		第3年次		第4年次	
		授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
科目	第1	※フレッシュマン・イングリッシュⅠ	1	※インターメディア・イングリッシュⅠ	1				
		※フレッシュマン・イングリッシュⅡ	1	※インターメディア・イングリッシュⅡ	1				
科目	第2	※フレッシュマン・イングリッシュⅢ	1	※インターメディア・イングリッシュⅢ	1				
		※フレッシュマン・イングリッシュⅣ	1	※インターメディア・イングリッシュⅣ	1				
科目	保健体育科目	ドイツ語Ⅰ	2	ドイツ語Ⅱ	2				
		フランス語Ⅰ	2	フランス語Ⅱ	2				
科目	単位互換科目	中国語Ⅰ	2	中国語Ⅱ	2				
		[ロシア語Ⅰ]	2	[ロシア語Ⅱ]	2				
科目	単位互換科目	[スペイン語Ⅰ]	2	[スペイン語Ⅱ]	2				
		朝鮮語Ⅰ	2	朝鮮語Ⅱ	2				
科目	単位互換科目	※生涯スポーツ演習Ⅰ	1	生涯スポーツ演習Ⅱ	1				
		※生涯スポーツ論	2						
科目	単位互換科目	他大学(短期大学を含む。)の授業科目のうち商学部教授会が適当と認める科目							
		基礎ゼミナール	2	○2年基礎ゼミナール	2	○3年専門ゼミナール	4	○論文ゼミナール	6
科目	単位互換科目	○会計基礎ゼミナール	2	○2年専門ゼミナール	2			○キャリア研修X	4
		情報表現技術	2					○キャリア研修Y	4
科目	単位互換科目	情報倫理	2					○キャリア研修Z	4
科目	単位互換科目	商学ゼミナールA	4	商学ゼミナールB	4	経営ゼミナールA	4	経営ゼミナールB	4
		経営ゼミナールB	4	会計ゼミナールA	4	会計ゼミナールB	4	外書講読BⅠ	2
科目	単位互換科目	外書講読AⅠ	2	外書講読AⅡ	2	外書講読BⅠ	2	情報処理基礎	2
		外書講読BⅡ	2	情報処理入門	2	情報処理基礎	2	マルチメディア概論	2
科目	単位互換科目	特別講義C	2	特別講義D	2				
		情報システム論	2	海外交流ゼミナール	4				
科目	単位互換科目	△流通・マーケティング入門	2	マーケティング戦略論	2	マーケティングリサーチ	2	消費者行動論	2
		△金融入門	2	地域商業論	2	サービスマネジメント	2	情報産業論	2
科目	単位互換科目	△経営入門	2	[広告コミュニケーション]	2	情報社会論	2	金融論	2
		△簿記原簿記	4	金融システム論	2	証券市場論	2	交通システム概論	2
科目	単位互換科目	△簿記原簿記	4	交通経済論	2	海運と航空	2	保険論	2
		△簿記原簿記	4	生活保障論	2	リスクマネジメント論	2	商業史概論	2
科目	単位互換科目	特別講義A	2	近代日本商業史	2	近代西洋商業史	2	中小企業論	2
		特別講義B	2	経営学総論	2	経営管理論	2	経営財務論A	2
科目	単位互換科目			[経営財務論B]	2	ヒューマンリソースマネジメント	2	経営財務論B	2
				経営戦略論	2	国際経営論	2	[経営組織論]	2
科目	単位互換科目			オペレーションズリサーチ	2	[工業経営論]	2	[経営診断論]	2
				会計学総論	2	経営心理学	2		
科目	単位互換科目			経営分析論	2	財務会計論	2	税と生活	2
				会計情報システム論	2	国際会計論	2	管理会計論	2
科目	単位互換科目			国際マーケティング論	2	監査論	2	[会計学特論]	2
				ビジネスコミュニケーション	2	国際貿易論	2	国際物流論	2
科目	単位互換科目	民法A	2	民法B	2	[商事法]	4	[行政法]	4
		経済法	4	[労働法]	4	[国際法]	4	[税法]	4
科目	単位互換科目	マクロ経済学	4	ミクロ経済学	4	財政学	4		
		商学部の授業科目のうち商学部教授会が適当と認める科目							
		他大学(短期大学を含む。)の授業科目のうち商学部教授会が適当と認める科目							

(注) (1) ○印の科目は、会計専門職プログラムの学生が履修することができる。

(2) [] 内は今年度休講。

平成28年度入学生（16台）

5 商学部第二部（商学科）の学生は、次の単位を修得しなければならない。（学則第34条参照）

(1)共通教育科目	{	総合教養科目	}	計20単位以上	}	総計124単位以上
		人文科学				
		社会科学				
		自然科学				
		総合系列科目				
外国語科目	{	第1外国語	}	8単位以上	}	}
		第2外国語		4単位以上		
		保健体育科目		3単位以上		
		単位互換科目				
(2)専門教育科目	{	選択必修科目	}	8単位以上	}	計60単位以上
		選 択 科 目		52単位以上		
(3)自由履修単位	{	共通教育科目	}	計29単位以上	}	}
		専門教育科目				
		関連教育科目				

- (注) 1. 選択必修科目を8単位以上修得した場合、8単位を超えた単位については選択科目に振り替えることができる。
2. 関連教育科目については、8単位を限度として、専門教育科目の選択科目に振り替えることができる。
3. 同一外国語について、第2外国語4単位以上を修得しない場合は、総合教養科目、専門教育科目、関連教育科目のうちから4単位以上を修得しなければならない。
4. 第2外国語を2単位のみ修得した場合は、各外国語について自由履修単位に算入する。
5. 単位互換科目の修得単位は、自由履修単位に算入する。
6. 卒業に必要な単位数（124単位以上）のうち、商学部が認める授業科目から40単位まで（このうち共通教育科目は32単位まで）、昼間部（商学部）で履修することができる。ただし、会計専門職プログラムの学生は、卒業に必要な単位数（124単位以上）のうち、60単位まで昼間部（商学部）で履修することができる。

平成27年度入学生（15台）

5 商学部第二部（商学科）の学生は、次の単位を修得しなければならない。（学則第34条参照）

(1)共通教育科目	{	総合教養科目	人文科学	}	計20単位以上	}	総計124単位以上
			社会科学				
			自然科学				
			総合系列科目				
			学修基盤科目				
外国語科目	{		第1外国語	}	8単位以上	}	}
			第2外国語		4単位以上		
保健体育科目			3単位以上				
単位互換科目							
(2)専門教育科目	{	選択必修科目		}	8単位以上	}	計60単位以上
		選 択 科 目			52単位以上		
(3)自由履修単位	{	共通教育科目		}	計29単位以上	}	}
		専門教育科目					
		関連教育科目					

- (注) 1. 選択必修科目を8単位以上修得した場合、8単位を超えた単位については選択科目に振り替えることができる。
2. 関連教育科目については、8単位を限度として、専門教育科目の選択科目に振り替えることができる。
3. 同一外国語について、第2外国語4単位以上を修得しない場合は、総合教養科目、専門教育科目、関連教育科目のうちから4単位以上を修得しなければならない。
4. 第2外国語を2単位のみ修得した場合は、各外国語について自由履修単位に算入する。
5. 単位互換科目の修得単位は、自由履修単位に算入する。
6. 卒業に必要な単位数（124単位以上）のうち、商学部が認める授業科目から40単位まで（このうち共通教育科目は32単位まで）、昼間部（商学部）で履修することができる。ただし、会計専門職プログラムの学生は、卒業に必要な単位数（124単位以上）のうち、60単位まで昼間部（商学部）で履修することができる。

平成27年度入学生 (15台)

商学部第二部 商学科

*印は必修
△印は選択必修

			第1・2・3・4年次											
		授業科目		単位		授業科目		単位		授業科目		単位		
共通教育科目	人文科学	[哲学A]	2	[哲学B]	2	論理学A	2	論理学B	2	論理学A	2	論理学B	2	
		[倫理A]	2	[倫理B]	2	宗教学A	2	宗教学B	2	日本文学A	2	日本文学B	2	
	[日本史A]	2	[日本史B]	2	[日本史通論A]	2	[日本史通論B]	2	[西文学A]	2	[西文学B]	2		
	[東洋史A]	2	[東洋史B]	2	[西文学通論A]	2	[西文学通論B]	2	日本文学A	2	日本文学B	2		
	[外国史通論A]	2	[外国史通論B]	2	[西文学通論A]	2	[西文学通論B]	2	日本文学A	2	日本文学B	2		
社会科学	[法政学A]	2	[法政学B]	2	日本国憲法	2	[法学概論]	2	[法学概論]	2	[政治学概論]	2	[政治学概論]	2
	[政治学A]	2	[政治学B]	2	[政治学概論]	2	[政治学概論]	2	[政治学概論]	2	[政治学概論]	2	[政治学概論]	2
自然科学	[数理入門]	2	[基礎数学]	2	統計入門	2	物理学入門	2	物理学入門	2	地球科学入門	2	地球科学入門	2
	[物理学の世界]	2	[自然界と物質の化学]	2	生活と環境の化学	2	地球圏科学入門	2	地球圏科学入門	2	自然科学入門	2	自然科学入門	2
総合系科目	商学部の授業科目のうち商学部教授会が適当と認める授業科目													
学修基盤科目	商学部の授業科目のうち商学部教授会が適当と認める授業科目													
科目	外国語科目	第1	※フレッシュマン・イングリッシュI	1	※インターディベ・イングリッシュI	1								
			※フレッシュマン・イングリッシュII	1	※インターディベ・イングリッシュII	1								
保健体育科目	単位互換科目	第2	ドイツ語I	2	ドイツ語II	2								
			フランス語I	2	フランス語II	2								
他大学(短期大学を含む。)の授業科目のうち商学部教授会が適当と認める科目														
専門教育科目			基礎ゼミナール	2	○2年基礎ゼミナール	2	○3年専門ゼミナール	4	○論文ゼミナール	6				
			○会計基礎ゼミナール	2	○2年専門ゼミナール	2			○キャリア研修X	4				
			情報表現技術	2					○キャリア研修Y	4				
			情報倫理	2					○キャリア研修Z	4				
									○キャリア研修B	2				
							キャリア研修A	4	キャリア研修B	2				
							キャリア研修C	1	キャリア研修C	1				
							外書講読C	1	外書講読C	1				
							外書講読C II	2	外書講読C II	2				
							外書講読C II	2	外書講読C II	2				
							商学ゼミナールA	4	経営ゼミナールB	4				
							経営ゼミナールB	4	経営ゼミナールA	4				
							国際ビジネスゼミナールA	4	国際ビジネスゼミナールB	4				
							国際ビジネスゼミナールB	4	国際ビジネスゼミナールA	4				
							外書講読A I	2	外書講読A II	2				
							外書講読B I	2	外書講読B II	2				
							外書講読B II	2	情報処理入門	2				
							特別講義C	2	特別講義D	2				
							情報システム論	2	海外交流ゼミナール	4				
							[Eコマースマーケティング]	2	マーケティング論	2				
							消費者行動論	2	地域商業論	2				
							サービス産業論	2	[観光産業論]	2				
							[広告コミュニケーション]	2	情報社会論	2				
							金融論A	2	[情報社会論]	2				
							金融機関論	2	[金融論B]	2				
							交通経済論	2	証券市場論	2				
							[交通経済論]	2	証券市場論	2				
							生活保障論	2	交通経済論B	2				
							商業史概論B	2	[証券市場論]	2				
							[西洋商業史A]	2	リスクマネジメント論	2				
							経営学総論	2	[日本商業史A]	2				
							中小企業概論	2	西洋商業史B	2				
							[比較経営史]	2	経営管理概論	2				
							経営財務論A	2	[経営管理概論]	2				
							[国際企業論]	2	経営史概論	2				
							経営戦略論	2	ヒューマンリソースマネジメント	2				
							[工業経営論]	2	国際経営論	2				
							オペレーションリサーチ	2	[企業行動論]	2				
							[経営心理学B]	2	[工業経営論]	2				
							[制度会計論]	2	[経営診断論]	2				
						[税務会計論II]	2	[経営シミュレーション]	2					
						国際会計論I	2	会計学総論	2					
						[管理会計論II]	2	[連結会計論]	2					
						監査概論	2	経営分析論I	2					
						[貿易商務論A]	2	[国際会計論II]	2					
						[アジア経済論]	2	会計情報システム論I	2					
						[世界経済論]	2	[会計士監査論]	2					
						[貿易政策I]	2	[貿易商務論B]	2					
						[外国為替論]	2	[アメリカ経済論]	2					
						ビジネスコミュニケーション実務I	2	国際マーケティング論	2					
						[ビジネスコミュニケーション実務I]	2	国際貿易論	2					
						法II	4	[国際貿易論]	2					
						[民法II]	4	[国際金融論]	2					
						[労働法]	4	ビジネスコミュニケーション実務II	2					
						[労働法]	4	[ビジネスコミュニケーション実務II]	2					
						ミクロ経済学	4	[国際協力論]	2					
						[ミクロ経済学]	4	国際協力論	2					
						[経済政策]	4	[国際協力論]	2					
						[国際経済学]	4	[国際協力論]	2					
						他大学(短期大学を含む。)の授業科目のうち商学部教授会が適当と認める科目								

(注) (1) ○印の科目は、会計専門職プログラムの学生が履修することができる。
 (2) []内は今年度休講。

令和6年度入学生(24台)

第2条の2 学部留学生は、外国語科目のうち当該学生の母語である科目を履修することはできない。

第3条 各授業科目の単位数は、次の基準による。(学則第32条参照)

- (1) 講義・演習・外国語……15時間から30時間までの範囲で各学部が定める時間の授業をもって1単位とする。
- (2) 実験・実習・実技……30時間から45時間までの範囲で各学部が定める時間の授業をもって1単位とする。
- (3) 授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二つ以上の方法の併用により行う場合の単位数は、その組み合わせに応じ、前2号に規定する基準を考慮して各学部が定める時間の授業をもって1単位とする。
- (4) 卒業論文・卒業演習・卒業計画等については、これらの必要な学修の成果を考慮して単位数を定める。

第4条 各学部各学科において、各年次の学生が履修する授業科目及び単位・時間数は、別表各年次別授業科目表のとおりとする。履修する授業科目の選択にあたっては、授業科目表に指示する履修の順序に従わなければならない。

第5条 人文学部の学生が1年間に履修する単位数は、原則として45単位を超えてはならない。ただし、前期で履修できる単位数は25単位以内、後期で履修できる単位数は25単位以内とする。

2 法学部の学生が1年間に履修する単位数は、原則として第1年次、第2年次、第3年次各40単位、第4年次48単位を超えてはならない。ただし、第2年次に履修する単位数は、前年度までの修得単位数が40単位に不足する場合、その不足単位数について4単位を限度として40単位を超えることができ、第3年次に履修する単位数は、前年度までの修得単位数が80単位に不足する場合、その不足単位数について8単位を限度として40単位を超えることができる。休学等により当該年度始めにおいて在学期間が2年以下の場合、前年度までの修得単位数と当該年度における登録単位数の総計が120単位を超えてはならない。

3 経済学部の学生が1年間に履修する単位数は、原則として第1年次、第2年次、第3年次各42単位、第4年次46単位を超えてはならない。

4 商学部の学生が1年間に履修する単位数は、次のとおりとする。

- (1) 商学部の学生(会計専門職プログラムの学生を除く。)は、原則として第1年次、第2年次、第3年次各42単位、第4年次46単位を超えてはならない。
- (2) 商学部の会計専門職プログラム(以下この号において「プログラム」という。)の学生は、原則として第1年次、第2年次、第3年次各48単位、第4年次46単位を超えてはならない。また、第3年次については、第2年次までの修得単位数と当該年度における登録単位数の総計が126単位を超えてはならない。ただし、第1年次にプログラムの学生でなくなった者が第2年次に履修する単位数は、第1年次までの修得単位数と当該年度における登録単位数の総計が84単位を超えてはならず、第2年次にプログラムの学生でなくなった者が第3年次に履修する単位数は、第2年次までの修得単位数と当該年度における登録単位数の総計が126単位を超えてはならない。

5 商学部第二部の学生が1年間に履修する単位数は、次のとおりとする。

- (1) 商学部第二部の学生(会計専門職プログラムの学生を除く。)は、原則として41単位を超えてはならない。
- (2) 商学部第二部の会計専門職プログラム(以下この号において「プログラム」という。)の学生は、原則として第1年次、第2年次、第3年次、第4年次各48単位を超えてはならない。また、第3年次については、第2年次までの修得単位数と当該年度における登録単位数の総計が123単位を超えてはならない。ただし、第1年次にプログラムの学生でなくなった者が第2年次に履修する単位数は、第1年次までの修得単位数と当該年度における登録単位数の総計が82単位を超えてはならず、第2年次にプログラムの学生でなくなった者が第3年次に履修する単位数は、第2年次までの修得単位数と当該年度における登録単位数の総計が123単位を超えてはならない。

6 理学部の学生が1年間に履修する単位数は、次のとおりとする。

- (1) 応用数学科の学生は、原則として第1年次、第2年次、第3年次各46単位、第4年次40単位を超えてはならない。ただし、学科履修規程第6条の5第1項第1号又は第6条の5第2項第1号に該当する者は、46単位まで履修することができる。
 - (2) 物理科学科及び化学科の学生は、原則として第1年次、第2年次、第3年次各48単位、第4年次40単位を超えてはならない。ただし、学科履修規程第6条の5第1項第2号・3号又は第6条の5第2項第2号・3号に該当する者は、48単位まで履修することができる。
 - (3) 地球圏科学科の学生は、原則として第1年次、第2年次、第3年次各49単位、第4年次40単位を超えてはならない。ただし、学科履修規程第6条の5第1項第4号又は第6条の5第2項第4号に該当する者は、49単位まで履修することができる。
- 7 工学部の学生が1年間に履修する単位数は、原則として49単位を超えてはならない。
 - 8 医学部の学生が1年間に履修する単位数は、次のとおりとする。
 - (1) 医学科の学生は原則として、第1学年において61単位を超えてはならない。ただし、原級に留まった場合において共通教育科目の修得単位があるときは、61単位からこれを減じた単位を上限とする。
 - (2) 看護学科の学生は原則として、第1年次、第2年次各48単位、第3年次37単位、第4年次30単位を超えてはならない。
 - 9 薬学部の学生が1年間に履修する単位数は、原則として第1年次49単位、第2年次49単位、第3年次49単位、第4年次38単位、第5年次37単位、第6年次29単位を超えてはならない。
 - 10 スポーツ科学部の学生が1年間に履修する単位数は、原則として46単位を超えてはならない。
 - 11 外国語科目の再履修は、下位年次から順次登録しなければならない。
- 第5条の2 医学部医学科の学生が原級に留まった場合は、原級の年次において修得した専門教育科目は無効とし、再度、原級の年次に配当している専門教育科目の全てを履修し、合格点の成績評価を得なければならない。
- 第5条の3 薬学部の学生が進級できなかった場合は、当該年次から進級の条件に必要な科目を履修しなければならない。この場合、第5条第9項の規定にかかわらず、教授会の承認を経て進級の条件に必要な科目の単位の他に、上位年次実習科目を除き10単位まで登録を認めることがある。
- 2 薬学部の学生は、原則として下位年次の専門教育科目の登録は認めない。
- 第6条 人文学部のドイツ語学科及びフランス語学科の学生は、次の各号に定める条件を満たしていなければ、当該各号に定める授業科目の登録をすることができない。
- (1) ドイツ語学科の学生は、2年以上在学し、ドイツ語ⅠA及びドイツ語ⅠBの計4単位を修得していなければ、第3・4年次授業科目のうち、専門教育科目の各演習及び各講読の登録をすることができない。
 - (2) フランス語学科の学生は、2年以上在学し、フランス語ⅠA及びフランス語ⅠBの計4単位を修得していなければ、第3・4年次授業科目のうち、専門教育科目の各演習及び各講読の登録をすることができない。
 - (3) ドイツ語学科及びフランス語学科の学生は、原則として、1年以上在学し、前年度の専門教育科目のGPA評価が3.0以上でなければ、他コースの授業科目の登録をすることができない。
- 2 人文学部の英語学科、ドイツ語学科、フランス語学科及び東アジア地域言語学科の学生は、多言語強化プログラムを履修することができる。
 - 3 多言語強化プログラムの修了の認定を希望する学生は、第2条第1項に規定する単位数を修得するとともに、学則第31条第1項に定める授業科目のうちから所定の科目を履修しなければならない。多言語強化プログラムについて必要な事項は、別に定める。
- 第6条の2 法学部の法律学科の学生は法律特修プログラム、経営法学科の学生は企業法務特修プログラムを各々履修することができる。
- 2 前項に定める法律特修プログラム及び企業法務特修プログラムの修了の認定を希望する学生は、第2条第2項に規定する単位数を修得するとともに、学則第31条第1項に定める授業科目のうちから所定の科目を履修しなければならない。
 - 3 第1項に定める法律特修プログラム又は企業法務特修プログラムについて必要な事項は、別に定める。

第6条の3 経済学部産業経済学科の学生は、起業家育成プログラム及び地域イノベーションプログラムを履修することができる。

- 2 起業家育成プログラムの修了の認定を希望する学生は、学則第31条第1項に定める授業科目のうちから所定の科目を履修しなければならない。起業家育成プログラムについて必要な事項は、別に定める。
- 3 地域イノベーションプログラムの履修を希望する学生は、第2条第3項に規定する単位数を修得するとともに、学則第31条第1項に定める授業科目のうちから所定の科目を履修しなければならない。地域イノベーションプログラムについて必要な事項は、別に定める。

第6条の4 商学部及び商学部第二部の会計専門職プログラム（以下この項において「プログラム」という。）を履修する学生は、第2条第4項又は第5項に規定する単位数を修得するとともに、所定の科目を履修しなければならない。プログラムについて必要な事項は、別に定める。

- 2 商学部及び商学部第二部のクリエイティブ・マネジメント・プログラム（以下この項において「プログラム」という。）を履修する学生は、第2条第4項又は第5項に規定する単位数を修得するとともに、所定の科目を履修しなければならない。プログラムについて必要な事項は、別に定める。
- 3 商学部商学科及び経営学科並びに商学部第二部の高校商業・情報科教員育成プログラム（以下この項において「プログラム」という。）を履修する学生は、第2条第4項又は第5項に規定する単位数及び教育職員免許状の授与を受けるための資格の取得に必要な教職課程科目（教科に関する科目を含む。）の単位数を修得するとともに、所定の科目を履修しなければならない。プログラムについて必要な事項は、別に定める。
- 4 商学部第二部の地域ビジネスデザインプログラム（以下この項において「プログラム」という。）を履修する学生は、第2条第5項に規定する単位数を修得するとともに、所定の科目を履修しなければならない。プログラムについて必要な事項は、別に定める。

第6条の5 理学部の学生は、2年以上在学し、次の単位を修得していなければ、第3年次開講科目の登録をすることができない。

- (1) 応用数学科の学生は、共通教育科目、専門教育科目及び関連教育科目について60単位以上。ただし、専門教育科目については、第1年次開講の必修科目13単位以上及び第2年次開講科目8単位以上を含む24単位以上を修得していること。
 - (2) 物理科学科の学生は、共通教育科目、専門教育科目及び関連教育科目について64単位以上
 - (3) 化学科の学生は、共通教育科目及び専門教育科目について64単位以上
 - (4) 地球圏科学科の学生は、共通教育科目及び専門教育科目について64単位以上。ただし、専門教育科目については、第2年次までの必修科目8単位を含む。
- 2 理学部の学生は、3年以上在学し、次の各号の単位を修得していなければ、当該各号に定める第4年次開講科目の登録をすることができない。

- (1) 応用数学科において、応用数学コースの学生は、専門教育科目の第3年次までの必修科目27単位を含む92単位以上、社会数理・情報インスティテュートコースの学生は、専門教育科目の第3年次までの必修科目29単位を含む92単位以上を修得していなければ、第4年次開講の全科目の登録をすることができない。
- (2) 物理科学科の学生は、専門教育科目の必修実験科目10単位及び物理科学研究の2単位並びに共通教育科目の外国語科目8単位を含む100単位以上を修得していなければ、第4年次開講の卒業論文の登録をすることができない。
- (3) 化学科の学生は、専門教育科目の第3年次までの選択必修実験・実習科目から18単位以上及び共通教育科目の外国語科目8単位を含む100単位以上を修得していなければ、第4年次開講の卒業論文の登録をすることができない。
- (4) 地球圏科学科の学生は、専門教育科目の選択必修科目（A・B・C群のうちのいずれかの科目群の全科目）8単位及び共通教育科目の外国語科目8単位を含む100単位以上を修得していなければ、第4年次開講の卒業論文の登録をすることができない。

第6条の6 工学部の学生は、2年以上在学し、60単位以上を修得していなければ、第3年次開講科目の登録をすることはできない。

2 工学部の学生は、3年以上在学し、第1・2年次必修の第1外国語科目6単位、選択必修の第2外国語科目4単位、学科別に指定された専門教育科目の単位を含む100単位以上を修得していなければ、第4年次開講科目の登録をすることはできない。

3 第1項の60単位・第2項の100単位に算入する総合教養科目、第1外国語科目、第2外国語科目、工学共通科目の単位数は、次のとおりとする。

(1) 総合教養科目は、12単位までとする。

(2) 第1項の60単位に算入するのは、第1外国語科目の必修科目6単位、第2外国語科目の選択必修科目4単位までとする。また、第2項の100単位に算入するのは、第1外国語科目の必修科目8単位、第2外国語科目の選択必修科目4単位までとする。

(3) 工学共通科目は、機械工学科は24単位まで、電気工学科は20単位まで、電子情報工学科は18単位まで、化学システム工学科は20単位まで、社会デザイン工学科、建築学科は18単位までとする。

第6条の7 医学部医学科の学生は、第1学年において共通教育科目については、総合教養科目として人文科学、社会科学、総合系列科目及び学修基盤科目から6単位以上、自然科学から6単位以上、計12単位以上、必修の外国語科目8単位、保健体育科目2単位、合計34単位以上、専門教育科目については18単位、総計52単位以上を修得しなければ、第2学年に進級することができない。ただし、50単位以上修得している学生については、医学部教授会の議を経て第2学年に進級させることがある。この場合、進級後未修得科目の再履修が可能なものに限るものとし、不足単位は第2学年で修得しなければならない。

2 医学部看護学科の学生は、次に掲げる条件を満たしていなければ、上位年次に進級又は3年次後期の実習科目を履修することができない。

(1) 第1年次においては、共通教育科目について、総合教養科目として人文科学、社会科学、総合系列科目及び学修基盤科目より10単位以上、自然科学より2単位以上、必修の外国語科目4単位、必修の保健体育科目2単位、計18単位以上、専門基礎科目について必修科目の17単位、専門教育科目について必修科目の8単位、合計43単位以上を修得していなければ第2年次に進級することができない。

(2) 第2年次においては、共通教育科目について、総合教養科目として人文科学、社会科学、総合系列科目及び学修基盤科目より12単位以上、自然科学より4単位以上、必修の外国語科目8単位、選択必修の外国語科目より2単位以上、必修の保健体育科目2単位、計28単位以上、専門基礎科目について必修科目の26単位、専門教育科目について必修科目の34単位、合計88単位以上を修得していなければ第3年次に進級することができない。

(3) 第3年次前期終了時において、第3年次前期に開講する専門基礎科目について必修科目の1単位、専門教育科目について必修科目の13単位及び選択必修科目の1単位を修得していなければ、第3年次後期に開講する看護学実習科目を履修することができない。この場合、第3年次の学年始めに登録した看護学実習科目の登録を取り消す。

(4) 第3年次後期終了時において、共通教育科目について、総合教養科目として人文科学、社会科学、総合系列科目及び学修基盤科目より12単位以上、自然科学より4単位以上、必修の外国語科目8単位、選択必修の外国語科目より2単位以上、必修の保健体育科目2単位、計28単位以上、専門基礎科目について必修科目の27単位、専門教育科目について必修科目の60単位及び選択必修科目の1単位、合計116単位以上を修得していなければ第4年次に進級することができない。

第6条の8 薬学部の学生は、第1年次から第5年次までのそれぞれにおいて、必修科目を含んで次の単位を修得していなければ、上位年次に進級することができない。

(1) 第1年次においては、共通教育科目について、総合教養科目から10単位以上、必修の外国語科目から2単位以上を含め計20単位以上、専門教育科目について、1年次の必修科目1単位、1年次の選択必修科目のうち、基礎薬学から9単位以上、臨床薬学から3単位以上を含め計15単位以上、合計36単位以上を修得していなければならない。

(2) 第2年次においては、共通教育科目について、総合教養科目から12単位以上、必修の外国語科目から6単位以上を含め計26単位以上、専門教育科目について、1年次科目16単位以上、2年次の必修科目5単位、2年次の選択必修科目のうち、基礎薬学から16単位以上、衛生薬学から2単位以上、医療薬学から4単位以上、臨床薬学から1単位以上を含め計27単位以上、合計48単位以上、総計74単位以

上を修得していなければならない。

- (3) 第3年次においては、共通教育科目について、総合教養科目から12単位以上、必修の外国語科目8単位を含め計28単位以上、専門教育科目について、1年次科目16単位以上、2年次科目32単位以上、3年次の必修科目7単位、3年次の選択必修科目のうち、基礎薬学から4単位以上、衛生薬学から4単位以上、医療薬学から10単位以上、臨床薬学から3単位以上を含め計25単位以上、合計80単位以上、総計108単位以上を修得していなければならない。
- (4) 第4年次においては、共通教育科目について、総合教養科目から12単位以上、必修の外国語科目8単位を含め計28単位以上、専門教育科目について、1年次科目16単位以上、2年次科目32単位以上、3年次科目32単位以上、4年次の必修科目13単位、4年次の選択必修科目のうち、衛生薬学から2単位以上、医療薬学から8単位以上、臨床薬学から2単位以上を含め計14単位以上、合計107単位以上、総計135単位以上を修得していなければならない。
- (5) 第5年次においては、共通教育科目について、総合教養科目から12単位以上、必修の外国語科目8単位を含め計28単位以上、専門教育科目について、1年次科目16単位以上、2年次科目32単位以上、3年次科目32単位以上、4年次科目27単位以上、5年次の必修科目32単位、計139単位以上、合計167単位以上を修得していなければならない。

2 薬学部のクリニカルファーマシスト養成プログラム（以下この項において「プログラム」という。）を履修する学生は、第2条第9項に規定する単位数を修得するとともに、所定の科目を履修しなければならない。プログラムについて必要な事項は、別に定める。

第7条 同一時間に二つ以上の科目を重複して登録することはできない。

第8条 学生は、学年始めの登録日にその学年において履修しようとする授業科目について、所定の方法で登録手続きをしなければならない。

第9条 登録日以後の登録は、一切認めない。

2 登録の撤回、変更、追加及び削除は、次の各号に掲げる場合（あらかじめ教授会等が定めた授業科目を除く。）に限って認める。

- (1) 前期及び後期開講日から所定の期間内に、その学期において履修するために登録手続きをした授業科目（後期については開講期間が通年の講義科目は除く。）について、2科目かつ8単位以内で登録の撤回をする場合
- (2) 後期開講前の登録日に、学年始めの登録日にその学年の後期において履修するために登録手続きをした授業科目（開講期間が通年の講義科目は除く。）について、登録の変更、追加、削除をする場合

第3章 受 講

第10条 学生は、登録した授業科目でなければ受講することはできない。

第11条 講義は、その開講期間によって、次の5種類とする。

- (1) 通年講義（1年間の継続講義）
- (2) 前期完結講義（前期開講、前期完結の講義）
- (3) 後期完結講義（後期開講、後期完結の講義）
- (4) 集中講義（休暇中の講義）
- (5) 臨時講義

第12条 選択科目は年度により開講しないことがある。開講した講義でも、受講人員が10人に満たない場合は、開講を取りやめることがある。

第13条 各講義は、その内容、教室の都合により、受講人員を制限することがある。

第14条 演習に出席常でない者及び研究報告をおこたる者は、演習及び論文の登録を取り消す。受講人員は20人を原則とする。

附 則

この規程は、令和6年4月1日から施行する。

卒業見込者の定義について（医学部医学科を除く）

薬学部を除く学部の4年次生（5年次以上も含む）及び薬学部の6年次生（7年次以上も含む）になって卒業見込者とみなされる者を次のとおり定義する。よって学科履修規程等を十分理解しておくこと。

“既得単位数と学科履修規程第5条（理学部は第5条と第6条の5、工学部は第5条と第6条の6、薬学部は第5条と第6条の8）”により登録した単位数との和が学科履修規程第2条を満足している者を卒業見込者という。

23台以前の学科履修規程条文は、窓口にお問い合わせください。